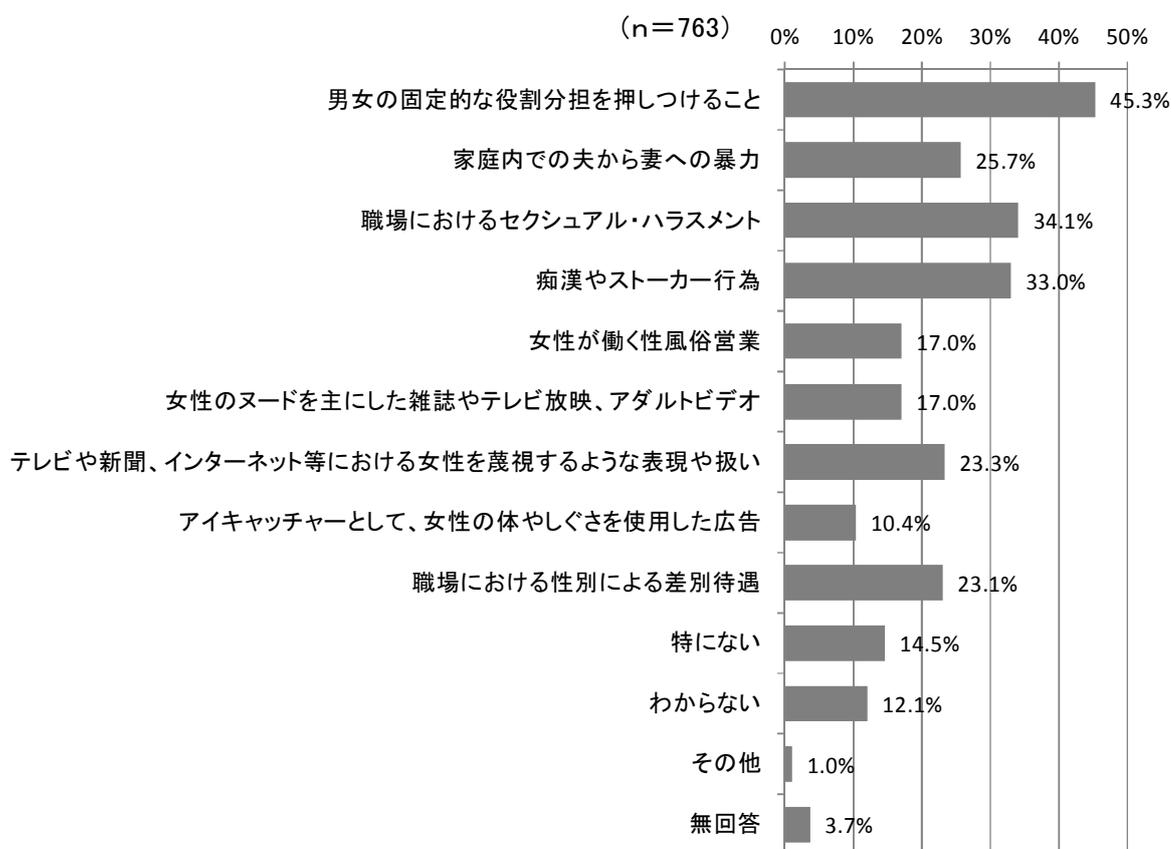


7. 女性の人権について

問20. あなたは、女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか。(〇はいくつでも)

「男女の固定的な役割分担を押しつけること」と回答した方が45.3%と最も多くなっており、続いては、「職場におけるセクシュアル・ハラスメント」の34.1%、「痴漢やストーカー行為」の33.0%となっています。



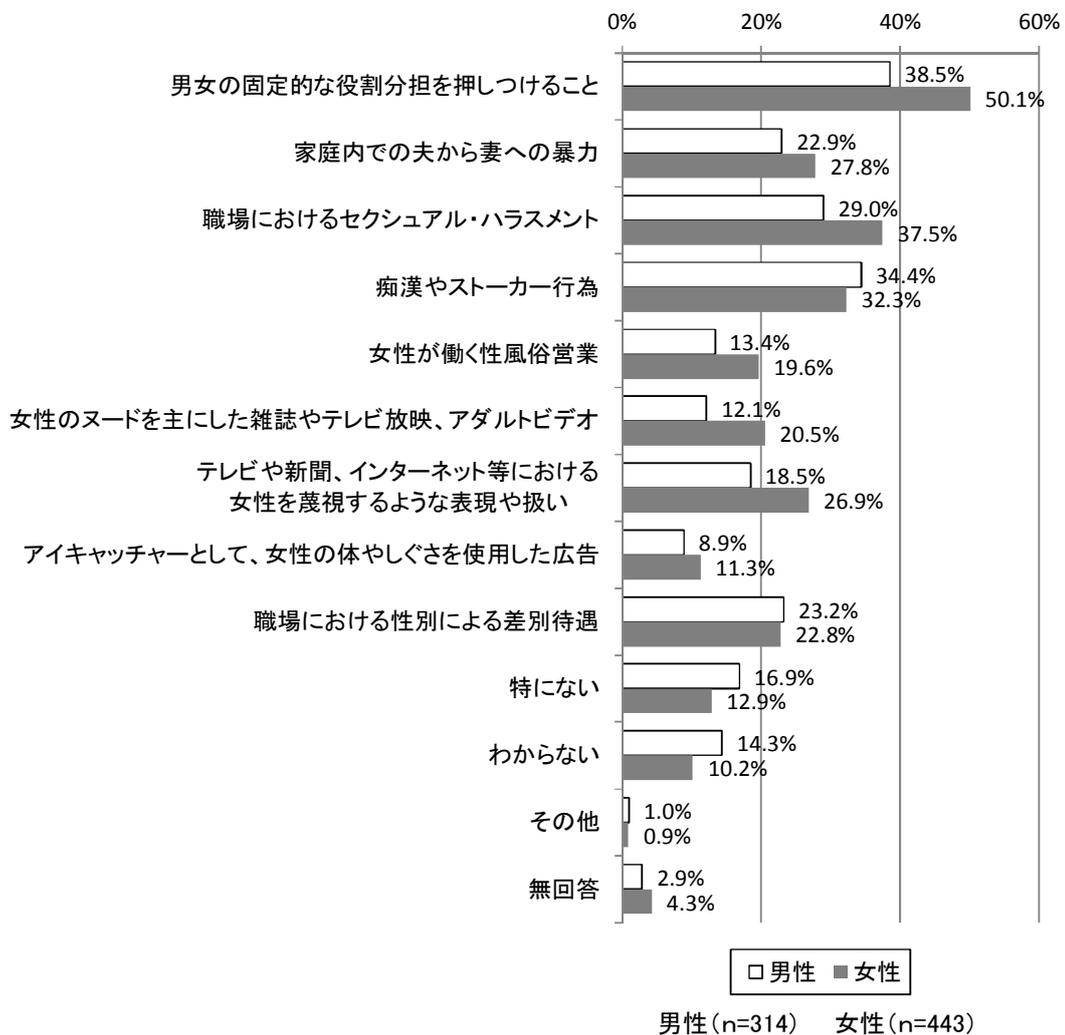
<その他の回答>

- 女性が自発的にする事は仕方ないです。
- このようなアンケート（質問）がある現状。
- 民間企業より公務員に感じる。
- 人権は尊重されている。

問20. 女性の人権が尊重されていないと感じること (男女別)

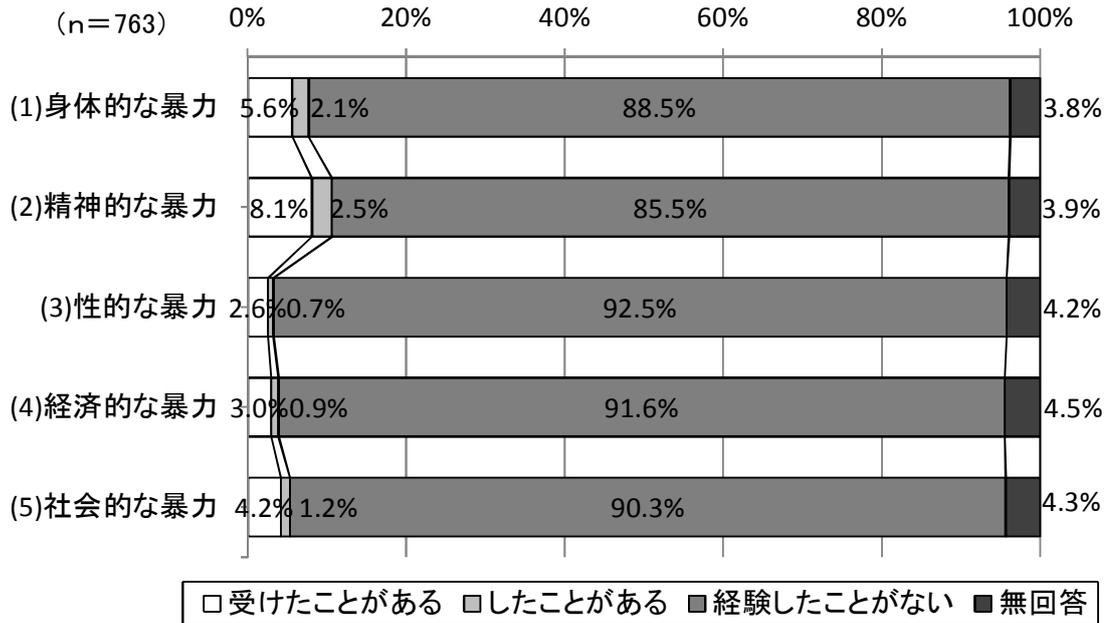
男女の回答に差のあるものは、「男女の固定的な役割分担を押し付けること」で男性よりも女性の方が11.6ポイント高い回答となっています。同様に「職場におけるセクシュアル・ハラスメント」で8.5ポイント、「女性のヌードを主にした雑誌やテレビ放映、アダルトビデオ」と「テレビや新聞、インターネット等における女性を蔑視するような表現や扱い」で8.4ポイント男性よりも女性の方が高くなっています。

また、女性より男性が高い回答は、あまり差はありませんが「特にない」や「わからない」となっています。



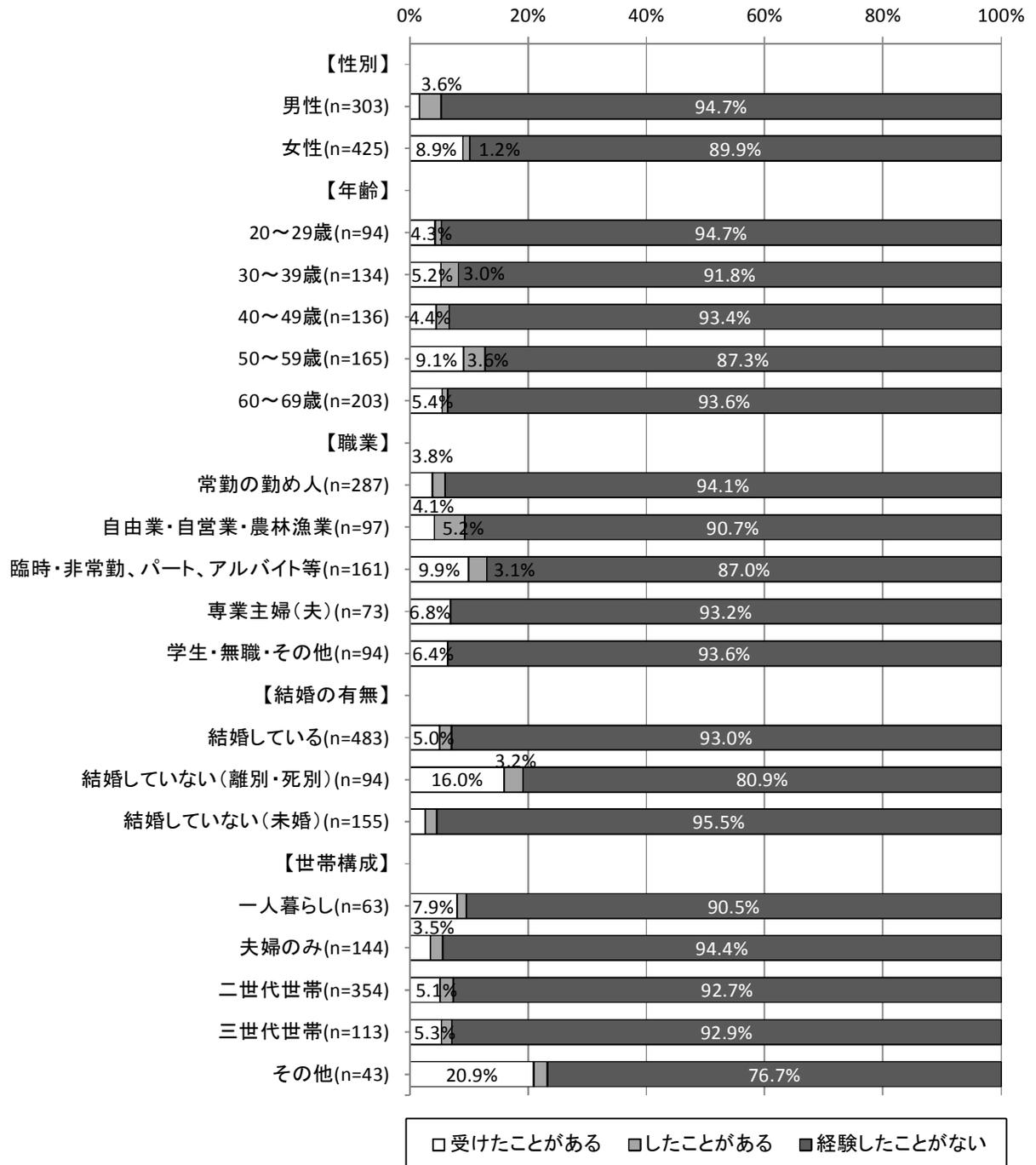
問 2 1. あなたは、ここ数年の間に、配偶者や恋人からの暴力（DV…ドメスティック・バイオレンス）について、経験したことがありますか。（それぞれ1つに○）

8割以上の方が「経験したことがない」と回答していますが、受けたこと、したことがある項目としては、「精神的な暴力」を受けた事がある方は8.1%、したことがある方は2.5%、「身体的な暴力」を受けたことがある方は5.6%、したことがある方は2.1%となっています。



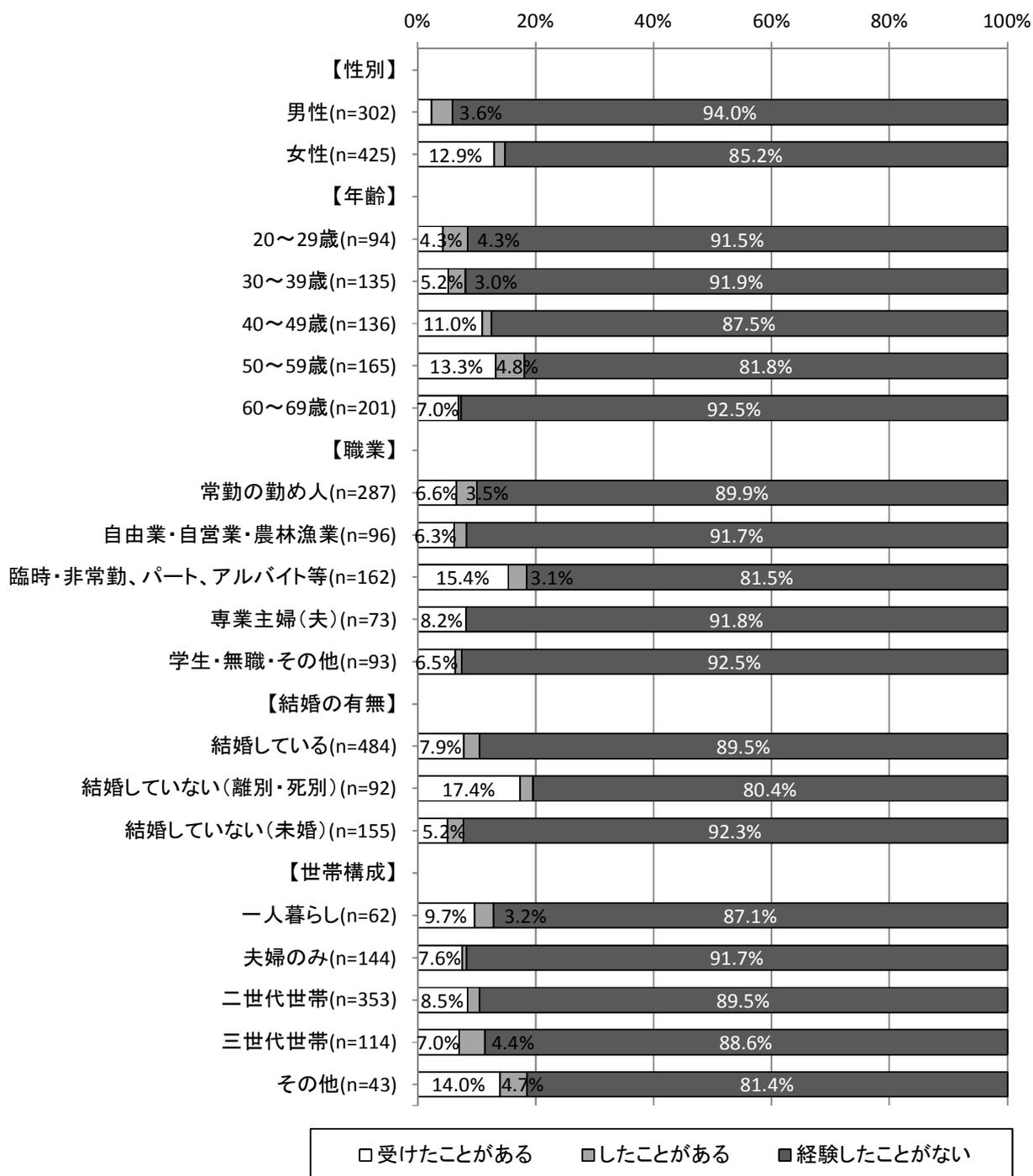
問21. DVについての経験 【身体的な暴力】 (属性別)

身体的な暴力では、「受けたことがある」で女性の割合が高く、結婚の有無では、「結婚していない(離別・死別)」の割合が高くなっています。



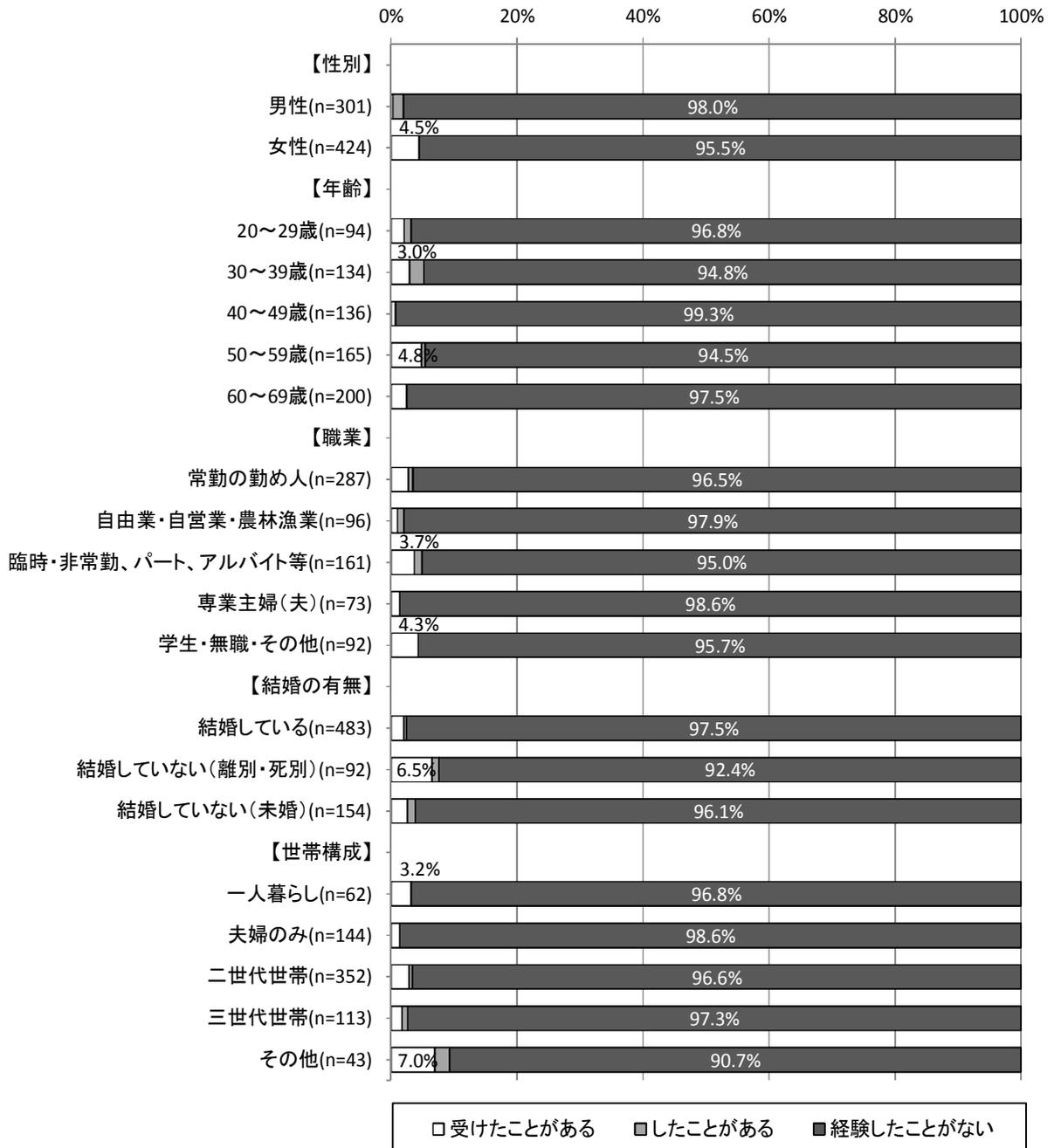
問21. DVについての経験 【精神的な暴力】 (属性別)

精神的な暴力では、「受けたことがある」で女性の割合が高く、年代では「40～49歳」、「50～59歳」で1割を超えています。また、職業では「臨時・非常勤、パート、アルバイト等」が、結婚の有無では「結婚していない(離別・死別)」の割合が高くなっています。



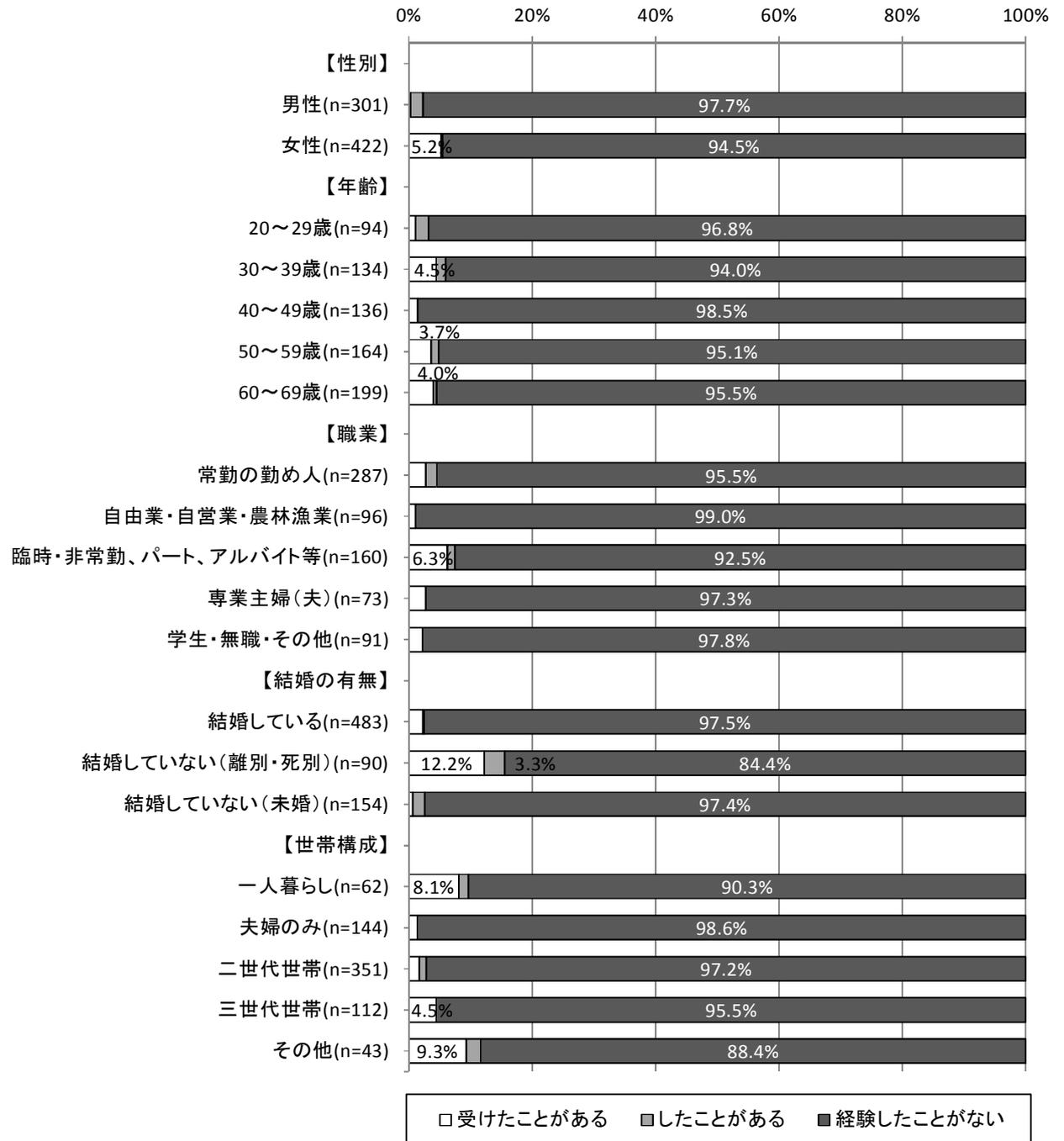
問21. DVについての経験 【性的な暴力】 (属性別)

性的な暴力では、「受けたことがある」で女性の割合が高く、結婚の有無では、「結婚していない(離別・死別)」の割合が高くなっています。



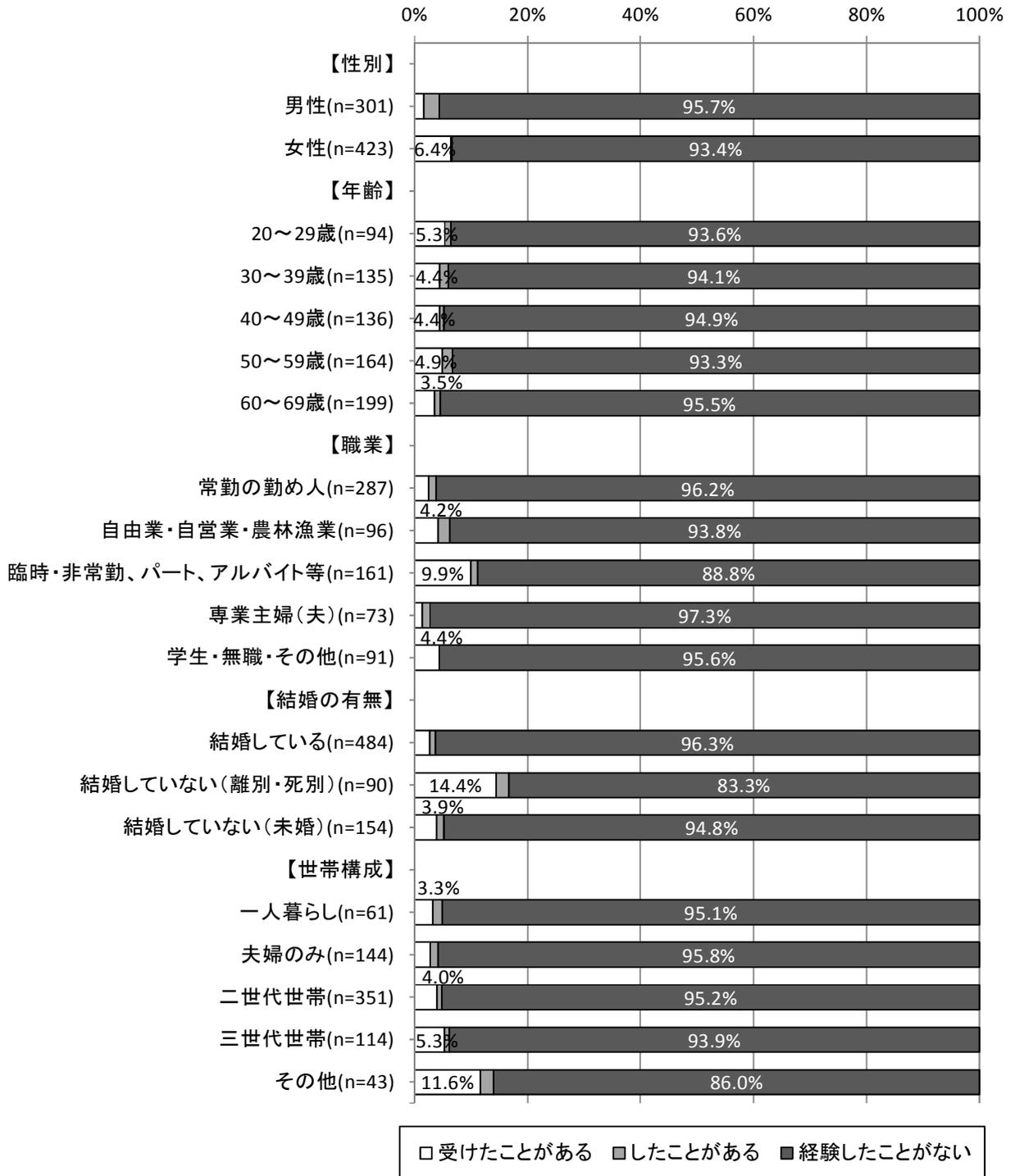
問21. DVについての経験 【経済的な暴力】 (属性別)

経済的な暴力では、「受けたことがある」で女性の割合が高く、職業では「臨時・非常勤、パート、アルバイト等」が、結婚の有無では「結婚していない(離別・死別)」の割合が高くなっています。



問21. DVについての経験 【社会的な暴力】 (属性別)

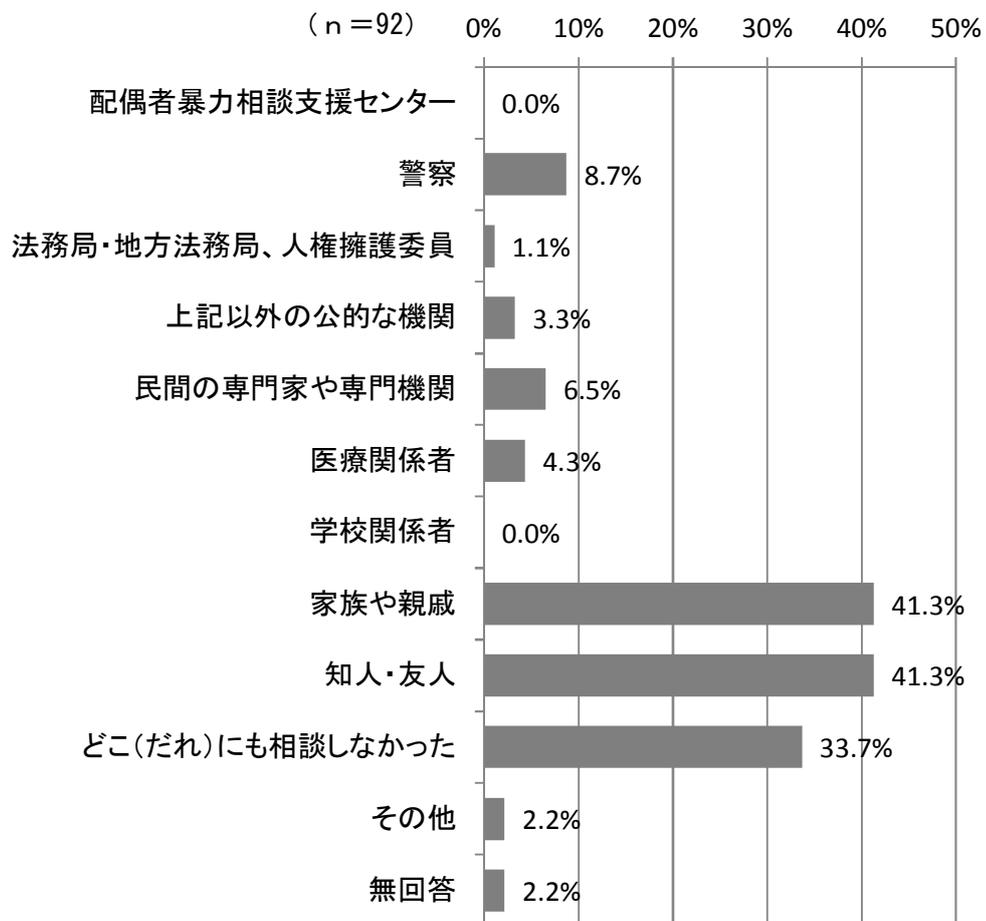
社会的な暴力では、「受けたことがある」で女性の割合が高く、職業では「臨時・非常勤、パート、アルバイト等」が、結婚の有無では「結婚していない(離別・死別)」の割合が高くなっています。



【問21. で、「1. 受けたことがある」と1つでも回答した方に伺います】

**問21-1. あなたは、あなたが受けたそのような行為について、誰かに打ち明けた
り、どこかに相談しましたか。(〇はいくつでも)**

「家族や親戚」、「知人・友人」と回答した方が同数の41.3%と最も多くなっており、続いては、「警察」の8.7%、「民間の専門家や専門機関」の6.5%となっています。また、「どこ(だれ)にも相談しなかった」とした方は、33.7%となっています。



【問 2 1-1. で、「10. どこ（だれ）にも相談しなかった」と回答した方に伺います】
問 2 1-2. あなたが、どこ（だれ）にも相談しなかった理由はなんですか。
（〇はいくつでも）

「相談しても無駄だと思ったから」と回答した方が 15 名と多くなっており、続いては、「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」、「自分にも悪いところがあると思ったから」、「相談するほどのことではないと思ったから」の 8 名と同数になっています。

項目	度数	構成比
どこ(だれ)に相談してよいかわからなかったから	4	12.9%
恥ずかしくてだれにも言えなかったから	3	9.7%
相談しても無駄だと思ったから	15	48.4%
相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから	2	6.5%
加害者に「誰にも言うな」とおどされたから	0	0.0%
相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから	1	3.2%
自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから	8	25.8%
世間体が悪いから	3	9.7%
他人を巻き込みたくなかったから	5	16.1%
他人に知られると、これまで通りのつき合いができなくなると思ったから	4	12.9%
そのことについて思い出したくなかったから	4	12.9%
自分にも悪いところがあると思ったから	8	25.8%
相手の行為は愛情の表現だと思ったから	0	0.0%
相談するほどのことではないと思ったから	8	25.8%
その他	5	16.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	31	
非該当	732	
合計	763	

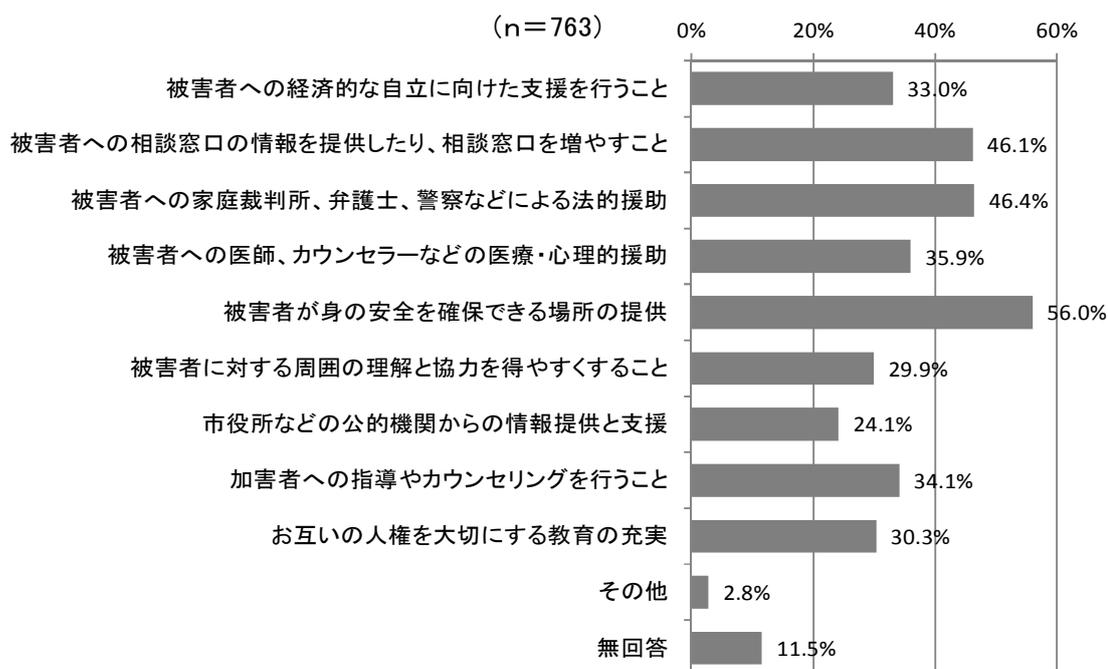
※問 21-1 で「どこ（だれ）にも相談しなかった」と回答した方で、回答者数が少ないため表のみ掲載しています。

<その他の回答>

- 女の言う事しか信じないと思ったから。
- はむかいたければはむかえばよし。
- 離婚することを決めたから。

問 2 2. パートナー（配偶者や恋人など）からの暴力に対して、どのような援助が有効だと思いますか。（〇はいくつでも）

「被害者が身の安全を確保できる場所の提供」と回答した方が 56.0%と最も多くなっており、続いては、「被害者への家庭裁判所、弁護士、警察などによる法的援助」の 46.4%、「被害者への相談窓口の情報を提供したり、相談窓口を増やすこと」の 46.1%となっています。



<その他の回答>

- お互いに話し合う事よい事悪い事を。
- 被害を受けている人は孤立しています。本来は特別な人ではないのですが日々の中で色々行動出来なくなっていくます。
- スクールカウンセラーの利用。親が学校に出向く、参観日などを利用して子供の事だけではなく、子供を取り巻く環境・・・親の事にも目を向けて行って欲しい。または、家庭訪問の際、担任だけでなく要望があればカウンセラーも同行するなど・・・。
- なぜ男性の心理も暴かない？DVをする心理をつきつめるべき。(精神的)等でないと、女性はいつまでも逃げているだけ。解決になっていないのではないか？
- 結婚後も女性が働き続けて経済的に自立できるように。
- 警察の介入。
- 加害者をムショ送り、または死刑。
- 被害者の親族への支援や保護。
- まず行政がDVや二次被害についてしっかり学び、どのように被害者と関わればいいのか勉強する。加害者への対処の方法もきちんと理解し、実施する。沼田市は非常に遅れている。
- 自分の意思。

問 2 2. パートナーからの暴力に対して有効な援助は (男女別)

男性より女性の回答が高いものは「被害者が身の安全を確保できる場所の提供」が 13.0 ポイント、「被害者への医師、カウンセラーなどの医療・心理的援助」が 6.6 ポイント高くなっています。

また、女性より男性の回答が高いものは、「被害者への相談窓口の情報を提供したり、相談窓口を増やすこと」が 4.3 ポイント高くなっています。

